

いなほ

ここは
IKパーソン
挑戦者たちの
劇場だ。



クアラルンプール
にある
超高層ビル
ムルデカ118

稲畑マレーシア本社
(クアラルンプール)
が入居する
オフィスビル

ジョホールバル
事務所が入居する
オフィスビル

ベナン事務所
が入居する
オフィスビル

マレーシアは
「ドリアン」の主要な産地で
「果物の王様」と
呼ばれるほど
人気のフルーツです

マラッカ
キリスト教会

マレーシア定番料理
「ナシレマ」
ココナッツミルクで
ご飯を炊きます



今号はIK World Newsに登場した稲畑マレーシアのメンバーを紹介しています。

目次

- 02 Top Message 社長 稲畑 勝太郎
- 06 新中期経営計画「New Challenge 2026」
- 09 2024年3月期 連結決算
- 10 ニュージーリーダーの素顔
～新取締役・新室長紹介～
- 12 業務分担当表
- 13 人事異動
- 14 稲畑の未来を考える
社長と語ろう
- 15 News Digest
- 16 New Challengeの現場から
岩手県矢巾町 バイオマス発電事業
- 18 稲畑産業グループのサステナビリティ
～サステナビリティ中期計画2026編～
- 20 IK World News
稲畑マレーシア
- 22 いなほカフェ
ここが面白くてへんなところ!?
キャリア営業社員から見た稲畑(東京・営業部門編)
- 24 稲畑社長 海外出張レポート
中国、香港、インドネシア
- 26 IKサークル活動 一挙紹介!
- 29 輪楽縁
- 30 オフィスレイアウト変更紹介
- 31 OB・OGのひろば
- 32 いなほなひとびと
入社しました/ご苦労様でした/編集後記/ほか

【綴じ込み別冊】創業者漫画・IK物語「少年勝太郎(第5・6話)」

Contents

Top Message
社長 稲畑 勝太郎
新中期経営計画
「New Challenge 2026」

特集
ニューリーダーの素顔
～新取締役・新室長紹介～

New Challengeの現場から
岩手県矢巾町
バイオマス発電事業

特集
IKサークル活動 一挙紹介!

IK World News
稲畑マレーシア



No. 246
July
2024

New Challenge 2026

2030年頃のありたい姿である長期ビジョン「IK Vision 2030」。その第3ステージとなる新中期経営計画「New Challenge 2026 (NC2026)」(2024年4月～2027年3月)がスタートしました! (IR企画部)

全体像

NC2026では、NC2023からさらに成長に軸足を移し、「投資による成長の加速」をメインテーマとしました。全社成長戦略・セグメント成長戦略・経営基盤戦略といった各種戦略を実行していきます。

長期ビジョン「IK Vision 2030」

中期経営計画「NC2026」

メインテーマ

- 投資の積極化により成長を加速する
- サステナビリティ中期計画を新たに策定し、経営の重要課題(マテリアリティ)に対処する

全社 成長戦略

セグメント 成長戦略

経営基盤戦略

財務戦略

サステナビリティ戦略
(人事戦略を含む)

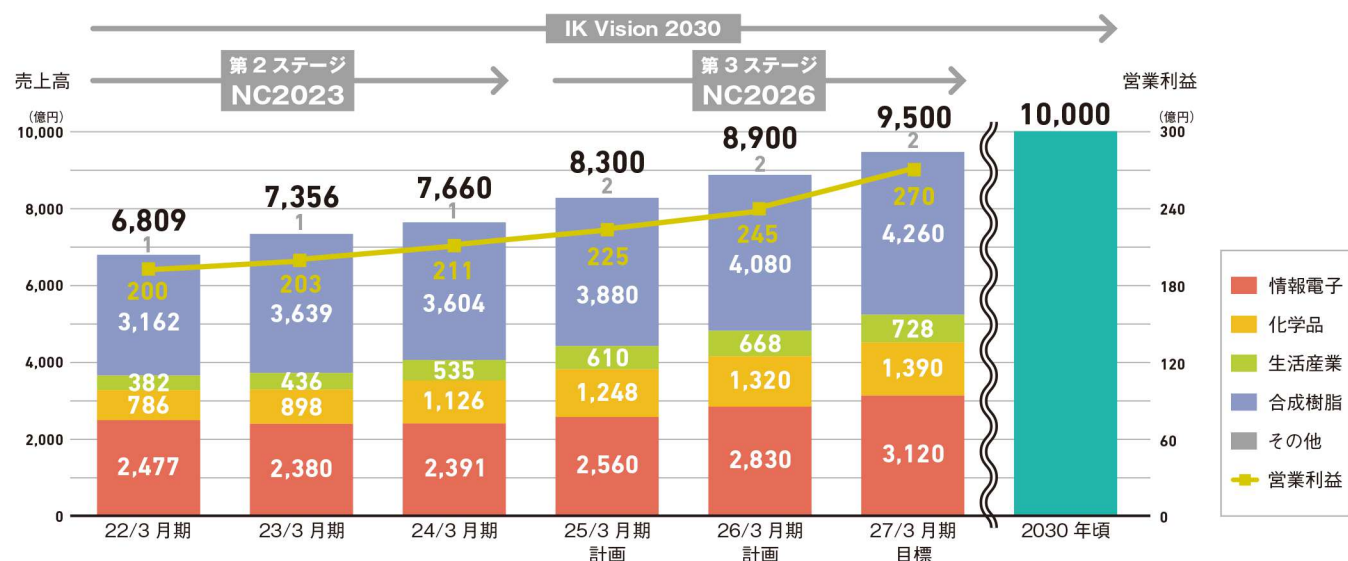
デジタル戦略

「NC2026」の定量目標 (2027年3月期)

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	ROE	ネットD/Eレシオ	自己資本比率
9,500 億円	270 億円	260 億円	190 億円	10%以上	0.5 倍以下	概ね 50%前後

※想定為替レート USD1=145.00 円

セグメント別売上高推移



「NC2026」の全社成長戦略まとめ

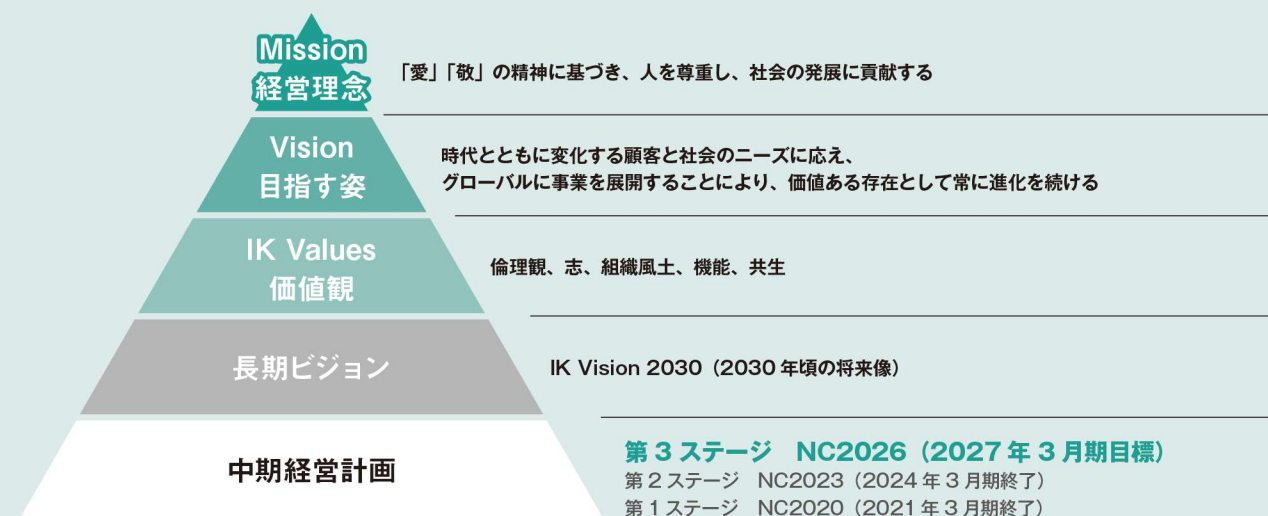
長期ビジョン	戦略
連結売上高1兆円以上	手段: 投資の積極化による収益拡大 事業領域: 環境関連ビジネス、食品等生活産業ビジネスの拡大
複合機能の高度化	複合機能(特に製造・物流)強化による差別化・収益性向上
事業ポートフォリオ	主要セグメント(合成樹脂・情報電子)の深耕 主要セグメントに並ぶ収益の柱の確立
海外比率70%以上	成長エリア(従来のアジア拠点に加え、特にインド、メキシコなど米州)の深耕 未開拓エリア(東欧など)への進出

「NC2026」の経営基盤戦略まとめ

経営基盤	戦略
財務	資本効率のさらなる向上と累進配当をはじめとする株主還元重視 「資本コストや株価を意識した経営」の実践(PBR1倍を常態的に超える株価水準の早期達成)
サステナビリティ	全社推進の土台となるサステナビリティマネジメントの整備: マテリアリティに沿った戦略とKPI・目標の設定およびモニタリング
デジタル戦略	経営情報インフラの高度化とグループ全体のセキュリティ強化

新中期経営計画「NC2026」の位置づけ

長期ビジョン「IK Vision 2030」を目指す第3ステージとなります。



長期ビジョン「IK Vision 2030」

連結売上高	1兆円以上を早期に実現
複合機能の高度化	商社機能を基本としつつも、製造・物流・ファイナンス等の複合的な機能の一層の高度化を図る
事業ポートフォリオ	情報電子・合成樹脂以外の事業比率を1/3以上に
海外比率	70%以上

[2017年5月策定]

「NC2026」のセグメント成長戦略

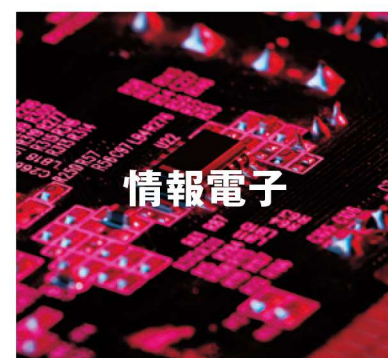
各セグメントの戦略を「コア」「成長」「ネクスト」に区分しました。
また、成長を促進させるための主な投資分野を特定しました。


コア: 主力ビジネスの深耕


ネクスト: 有望分野・地域の開拓


成長: 成長分野への取り組み強化と収益化加速

投資等: 経営資源の重点投入による成長加速

	コア	<ul style="list-style-type: none"> ディスプレイビジネスの横展開、関連ビジネスの拡大 コンシューマー向けインクジェット関連ビジネスの収益向上
	成長	<ul style="list-style-type: none"> 環境・エネルギー分野の拡大加速～2030年頃に売上高1,000億円を目指す 半導体・電子部品関連ビジネスの強化（含む装置ビジネス） 産業用インクジェット関連ビジネスの拡大（テキスタイル向けなど）
	ネクスト	<ul style="list-style-type: none"> 環境配慮型材料（バイオ染料、水素・燃料電池関連など）への取り組み IoT関連商材への取り組み
	投資等	<ul style="list-style-type: none"> 環境・エネルギー分野 半導体関連

	コア	<ul style="list-style-type: none"> 樹脂原料・添加剤、コーティング原料、建材の拡販 丸石化学品とのシナジー発現（コーティング原料、塗料など）
	成長	<ul style="list-style-type: none"> EV分野における素材（バッテリー、モーター、ディスプレイ関連）の拡大 海外展開強化（グローバルな物流機能を使った各商材の拡販）
	ネクスト	<ul style="list-style-type: none"> 生分解性原料、リサイクル原料への取り組み 企画開発力強化による新規テーマ獲得
	投資等	<ul style="list-style-type: none"> EV分野 機能化学品、コーティング原料 物流・加工機能の強化

	コア	<ul style="list-style-type: none"> 医薬品、家庭用品の販売領域拡大（特に海外） 加工機能を生かした回転すしチェーン向け販売の拡大
	成長	<ul style="list-style-type: none"> 大五通商とのシナジー発現によるEコマース拡大など 再生医療、核酸・バイオ医薬品等成長分野への注力
	ネクスト	<ul style="list-style-type: none"> 天然由来原料の活用（化粧品・農業原料など） 微生物製剤活用によるCO₂排出量、汚泥削減ビジネス
	投資等	<ul style="list-style-type: none"> 食品・農業の川上・川下領域（特に加工機能の拡大） 再生医療などの成長領域

	コア	<ul style="list-style-type: none"> 自動車分野のグローバル拡大加速 ～2030年頃に売上高2,000億円を目指す フィルム・シートのグループ会社連携強化
	成長	<ul style="list-style-type: none"> コンパウンド機能の高度化 ～合併会社設立による技術開発力強化、生産の効率化、品質管理の高度化 リサイクル事業、グリーンビジネスの拡大 自動車分野におけるEV向け拡大 非日系取引先の拡大
	ネクスト	<ul style="list-style-type: none"> 海外未進出地域の開拓（南アジア、カンボジア、アフリカ諸国など） ケミカルリサイクル事業の探求
	投資等	<ul style="list-style-type: none"> コンパウンド事業 リサイクル事業

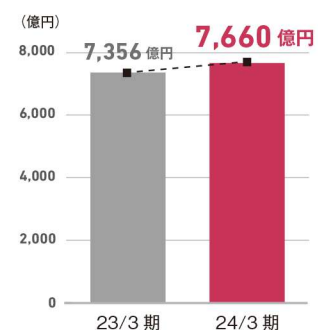
2024年3月期 連結決算

2024年3月期（163期）の各数値について簡潔に解説いたします。（IR企画部）

為替レート (USD/円)
23/3期 135.50
24/3期 144.59

生活産業・化学品セグメントにおける新規連結や円安の効果もあり、
売上高と営業利益は過去最高となりました。

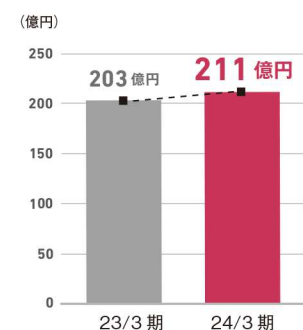
売上高



対前期比 **+4.1%**

M&Aによる新規連結や円安の効果などにより、増収となりました。

営業利益



対前期比 **+4.3%**

売上高の増加や売上総利益率の上昇により、増益となりました。

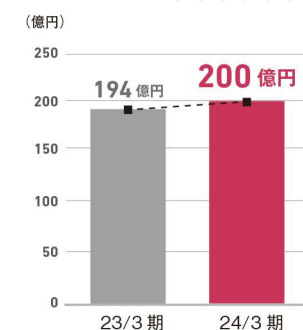
経常利益



対前期比 **+11.9%**

受取配当金が減少したものの、持分法投資損益の改善などにより、増益となりました。

当期純利益*



対前期比 **+2.7%**

投資有価証券売却益が減少したものの、新規連結に伴う負ののれん発生益の計上等もあり、増益となりました。

2025年3月期 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益*
第2四半期（累計）	4,100 億円	108 億円	105 億円	82 億円
通期	8,300 億円	225 億円	215 億円	170 億円

3カ年の中期経営計画「NC2023」の最終年度実績

NC2023最終年度の実績は、営業利益は目標値を達成しましたが、売上高・経常利益・当期純利益は未達となりました。
売上高および営業利益は、3期連続で過去最高を更新しました。

	2024年3月期		
	最終年度実績	目標値	達成率
売上高	7,660 億円	8,000 億円	95.8%
営業利益	211 億円	205 億円	103.4%
経常利益	213 億円	215 億円	99.5%
当期純利益*	200 億円	225 億円	88.9%
ネットD/Eレシオ	0.06 倍	0.5 倍以下	達成
為替レート (USD/円)	144.59	120.00	—

*親会社株主に帰属する当期純利益



1/21~23

情二「Winter Fancy Food Show 2024」に出展



情報電子第二本部は、米国・ラスベガスで開催された国際食品展にBOV(Bag on Valve)[※]フーズプレアを出展しました。今後の海外展開を視野に、米国市場はじめ海外でのニーズを確かめることが目的です。ブースでは、BOVのGABA茶・醤油・ゆずなど全11種のホイップやミストを試食提供しました。(情報電子第二本部)

※BOV…エアゾール缶内に内袋が内蔵されており、原液と噴射剤の二重構造で構成されています。そのため、原液が酸化しづらいほか、安定した吐出で粘性の高い原液でも92~98%吐出でき、フードロス削減にもつながるサステナブルな食品容器です。

2/7, 3/11

11年ぶりの「くるみん認定」取得、「健康経営優良法人2024」は2年連続

当社は2月7日に大阪労働局より「子育てサポート企業」として、11年ぶりに厚生労働大臣の「くるみん認定」を取得しました。

また3月11日には経済産業省と日本健康会議が共同で実施する、大規模法人部門「健康経営優良法人2024」に、昨年に続き認定されました。(人事室)



3/19

役員を対象にダイバーシティ・インクルージョン(D&I)研修を開催

ダイバーシティ・インクルージョン(D&I)推進の一環で、稲畑社長、赤尾専務、横田専務、杉山常務がダイバーシティ&インクルージョン研修に参加しました。研修では、役員の方から「誰ひとり取りこぼさない組織が大切」というコメントがありました。今後7月22日、7月31日、8月5日の3回に分けて、本部長、室長を対象に同様の研修が開催されます。(人事室)



4/1

2024年度入社式を開催

大阪本社にて2024年度新卒新入社員34名の入社式を開催しました。稲畑社長、赤尾専務、横田専務、古林人事室長が出席し、新入社員への辞令交付後、稲畑社長の祝辞、新入社員による自己紹介がありました。(人事室)



4/16~18

情一「Photomask Japan 2024」に出展

半導体用フォトマスク[※]に関する技術展示会にて、当社はMicro Lithography, INC.(以下、MLI社 本社:米国)のペリクルを出展しました。ペリクルはフォトマスクの異物混入防止カバーで、当社はMLI社の日本市場の総代理店を40年以上務めています。昨年まではオンラインで行われていた同展示会は、2019年以来5年ぶりにパシフィコ横浜で開催されました。



(情報電子第一本部)

※半導体用フォトマスク…半導体製造工程で重要な役割を果たすもので、半導体ウェハーに回路を転写するための原版です。

4/16~18

稲畑フランス「in-cosmetics Global」に出展

稲畑フランスは、パリで開催された化粧品原料の展示会に出展しました。本展示会で紹介された新商品は「INAWAVE[®] Polyporus」という漢方由来の有効成分で、抜け毛の進行を遅らせる効果が期待されます。稲畑フランスの化粧品開発メンバーが商品化した自社商品で、2024年2月末に当社が出資したアントフェノール社の技術を活用して製造されています。



(稲畑フランス)

5/1

岩手営業所を開設

当社は東北地方での国産材バイオマスビジネス強化のため、新たに盛岡市に営業所を開設しました。(情報電子第三本部)

名称:稲畑産業株式会社 岩手営業所
住所:〒020-0832
岩手県盛岡市東見前6-37-1 (株)古里木材物流内
営業開始日:2024年5月1日

